

天溪 2017 年「アンナプルナ内院 13 日間」

「アンナプルナ内院 13 日間」を 11 月 9 日～11 月 21 日に行いました。

今年は素晴らしい青空の下、気温も高く、入山 3 日目の宿泊地バンブー(2310m) 迄は大汗をかいて登る程でした。そんな気候が災いしたのか期待していた秋に咲く桜は開花が大きく遅れ、残念ながらほとんど蕾状態でした。トレッカーは例年になく大勢見かけましたがバンブーを過ぎると急に減り、復路の静けさと合わせれば、この地域のトレッキングは 11 月上旬がピークと思われます。

驚いたのは最高到達地点 4200m とヒマラヤにしては比較的低いせいか、ポカラとアンナプルナ BC を結ぶヘリコプターの遊覧飛行が行われ、短期で素晴らしい景色が楽しめるので弾丸登山まで登場していました。一方、ヒマラヤ通にファンが多いこのメジャールートは、エベレスト方面を好む日本の皆様に殆ど知名度が無いのが残念です。いずれにしても私的には 7000m 以上の俊峰にぐるりと囲まれ、中央に 4000m の壁を持つアンナプルナ I 峰(8091m) が聳える内院は、ゆったりヒマラヤ気分になれる素晴らしい所だと思います。



※温暖化の影響かどうか分かりませんが、まだ蕾の桜の木(11 月 11 日撮影)

＜アンナプルナ BC へ＞

この時期は丁度ハーベストの季節。全てが手作業で行われ、未だに機械化が殆ど進んでいない農耕は、恰も戦前の日本の農村風景と言った所でしょうか。そんな風景を見ながら最後の村チョムロンを過ぎ、バンブー迄登るとそこはアンナプルナ特別保護地域。神聖な場所に付き、ゴミ捨てどころか唾も吐くな、と立て看板に有りました。

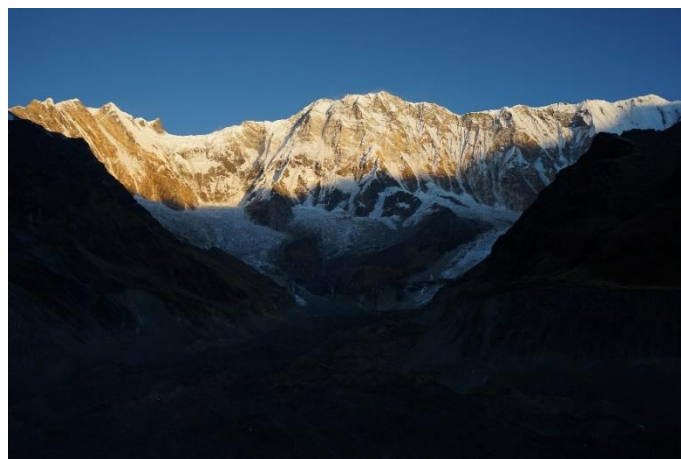




<アンナプルナ BC から>

この日アンナプルナは1峰を含め全天雲一つ無い快晴で夜明けを迎えました。しかし、驚いたことに何故か全く朝焼けをしません。こんなことは初めてで、何とも不思議な自然現象が有るものです。尚、この日の天気は午後雲が湧き連山が隠れた程度で大崩れしませんでした。

※追記 ジヌーダングはヒマラヤの奥にある天然温泉で今年も入浴して来ました。地震の影響もなく、泉源から滔々と流れる適温のお湯に浸かり、極楽気分旅の疲れと垢を落としました。



※何故か全く朝焼けのしなかったアンナプルナ1峰（11月16日撮影）



※アンナプルナ山群遠望する台地は漸く桜が咲き始めました(11月19日)

2017年度の天溪ツアーはこの「アンナプルナ内院13日間」を持って終了する予定でしたが、新企画「パタゴニア・パイネとフィッツロイ14日間」が2018年1月から前倒され12月1日から行うことになりました。これを持って天溪2017年度のツアーを終了致します。